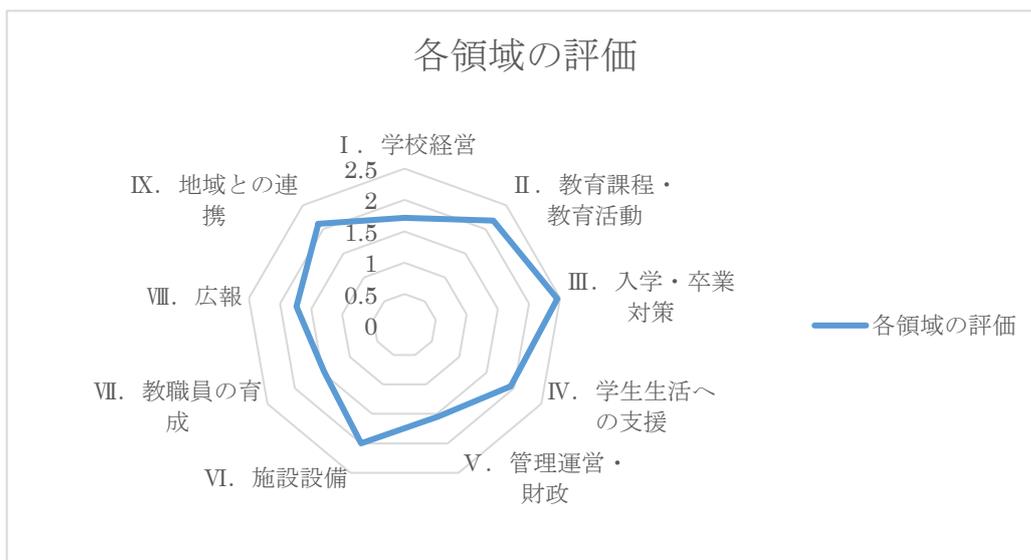


平成28年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、学校活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域46項目からなり、「3 よい」「2 普通」「1 不十分」の3段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	6
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連絡	2



平成28年度の学校運営評価において、最も評価が高い項目は「III. 入学・卒業対策」であった。評価が高い理由として、従前からの入学前課題に加え入学前スクーリングを導入したことがまず挙げられる。これらの取り組みは、医療人として学ぶための心構えや知識修得に対する姿勢を養い、入学後スムーズに学生生活に入れるよう実施している。また、3年次において就職活動における面接練習や履歴書の書き方指導など、幅広い就職支援体制が確立されている点も高い評価に繋がったと考える。一方、評価が低い項目は「VII. 教職員の育成」、「V. 管理運営・財政」であった。教職員の育成においては、教職員全体として、高め合い、改善を図るため研修等を利用し、教職員が相互に資質向上に努めようとする土壌はできつつあると考える。ところが、教職員が各所で得た知識を共有する機会と時間を持つのが難しく、全体的な底上げとなっていない点が評価に直結したと考えられる。管理運営・財政においては、非常時における危機管理の基本方針が確立されていない点が教職員共通の懸念事項でもあり、それが低評価の要因になったと思われる。今回の評価結果を踏まえ、今後も医療人を育成する教育機関として、教職員が共通の認識を持って学校の強みと弱みを知り、常に勤しむことで、より良い教育活動に取り組めるよう邁進していく。